決勝ストレートで県4強撃破!!

全員で攻めて圧倒 熊谷荒川 県北制覇

▲　3年ぶり2度目の優勝を飾った熊谷荒川

第21回県北中学校女子バレーボール交流会

第21回県北中学校女子バレーボール交流会が2月9～11日、本庄シルクドームなどで行われた。決勝では熊谷荒川が25―16、25―16のストレートで上里を下し、3年ぶり2度目の優勝を飾った。好守と、エース大久保結衣主将（2年）を中心にどこからでも得点できる全員バレーで、昨秋の県大会4強の強豪を打ち破った。

3年ぶり2度目

レフト根岸由優菜（2年）の連続サービスエースで始まった決勝戦。熊谷荒川メンバーの勢いは、最後まで衰えを知らなかった。大久保主将が強打を決め、9―7と点差を詰められた場面では根岸のフェイント、ライト棚町ほのか（2年）のサービスエース、センター坂田美月（2年）のスパイクで突き放した。

第2セット序盤で大久保が相手ブロックに止められると、セッター笹沢ヒカリ（2年）が自在のトスワークで攻撃陣を操り、流れを渡さなかった。昨秋新人戦で県4強の上里を25―16、25―16の快勝で破り、大久保主将は「気持ちいい。なんも言えねぇ～」と、愛嬌たっぷりの笑顔を振りまいた。

上里の荒井柚希主将（2年）が第1セット中盤で負傷交代したため、霜田壮洋監督（41）は「相手エースの交代で助けられた部分もあり素直に喜べないが」と前置きした上で、「スパイク練習に重点を置いて決定力を上げ、体力トレーニングをしっかりしてきた成果は出せたかな」と、うなずいた。

意識と技術向上

練習時間の大半を攻撃に割く中で、選手たちは「踏み込みを深くしたり、ブロックアウトの技術を身につけたり」（根岸）と、自分で考えながら意識も技術も向上させてきた。腹筋や縄跳び、逆立ちのほか5・5"の走り込みもこなし「ほとんどの選手が学校のマラソン大会で上位」（霜田監督）と、試合の最後までスタミナを保つフィジカルも蓄えた。

選手主導のミーティングも繰り返し「控えメンバーまで全員がしっかり意見を言えるのがうちの強み」（大久保主将）と、チームの輪を強固なものとした。この日、根岸の14得点、大久保主将の13得点を筆頭に、出場した全員が複数得点をあげるなど、すべてが自らの役割をこなした。「初の県制覇を達成したい」（大久保主将）という目標に向け、県北女王のプライドを持って次へ向かう。

フィジカル鍛え 夏にリベンジを

上里　第1セット中盤にエースの荒井主将が「両足がつってしまった」と離脱。第2セットで直訴の出場も「本来の動きはできなかった」とうつむいた。岸孝監督（63）も「準決勝までの試合で競りすぎてスタミナ切れ。もっとフィジカルを鍛えないと」と課題を掲げた。荒井主将は「今日はレシーブもスパイクもすべて相手が上。夏には追い越せるように意識を高めていきたい」と雪辱を誓った。

チーム最多の14得点を挙げた熊谷荒川・根岸（4番）

攻守でチームを引っ張った熊谷荒川・大久保主将（1番）

霜田監督「スパイク練習と体力トレーニングの成果」

▽決勝
熊谷荒川 2（25―16、25―16）0 上里

▽準々決勝
上里 2（25―20、25―20）0 深谷
深谷 2（25―16、25―16）0 熊谷東
熊谷荒川 2（25―16、25―16）0 寄居

▽準決勝
上里 2（25―22、25―23）0 深谷
熊谷荒川 2（25―25、15―8）0 寄居

寄居 2―0 秩父吉田・小鹿野

熊谷荒川

選手名	学年
大久保結衣	②
笹沢ヒカリ	②
澤田　梨花	②
根岸由優菜	②
棚町ほのか	②
坂田　美月	②
市川　莉子	②
渡辺　美玖	②
富田　葵	②
岡部和香奈	①
森下　李湖	①
山田　心美	①

写真お分けしています

本紙が撮影した写真に限り、お分けしています。A4サイズ800円、ハガキサイズ400円。お申し込み・お問い合わせは☎03・5479・1231報知新聞社販売統括部ご担当の読売新聞販売店からお届けします。またHP（さいたま報知写真館）では未掲載写真もご覧になれます。※さわやか野球教室などお分けできない写真もあります。ご了承下さい。